

ジャスティV

【警告】

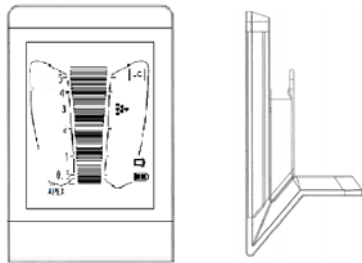
チャンネルインスツルメントホルダー及び口角クリップは滅菌したものを使用すること。[感染防止のため]

【禁忌・禁止】

- 1.電気メス、歯髄診断器との併用はしないこと。[正常に作動しないおそれがある]
- 2.ペースメーカーを用いている患者には使用しないこと。[ペースメーカーの誤動作のおそれがある]
- 3.測定に使用するチャンネルインスツルメントには、ファイルのハンドルが金属製のものを使用しないこと。[正常に作動しないおそれがある]
- 4.ノイズを多く出すおそれのある機器(例:インバーター電源、シャカステン、超音波洗浄器)の近くでは使用しないこと。[正常に作動しないおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1.本体(プローブコード付き)



寸法: 幅 80×奥行 68×高さ 115(単位 mm)
原材料: 口角クリップ SUS 304

2.その他構成品

- ・チャンネルインスツルメントホルダー(大小・各 2 本)
- ・口角クリップ(3 本)
- ・排唾管クリップ(1 本)
- ・単 4 アルカリ乾電池(1.5V) 本体用×2 本 (付属品)

3.原理

チャンネルインスツルメントホルダーを接続した電極となるファイルと、その対極となる口角クリップ(リップクリップ)の間に電流を流し、回路内に流れる電流の変化から根管内の測定用探針の位置を測定し、本体画面にその結果を表示する。また、測定用探針が根尖位置に到達した時に、アラームが鳴る。側枝を検出すると本体画面に表示される。

4.電氣的定格

電源: DC3.0V(単 4 アルカリ乾電池 2 本)

消費電力: 70mW

電撃に対する保護形式の分類: 内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類: BF 形装着部

5.仕様

根尖孔までの表示 5.0~0(Apex)

ステップ表示 36 段階

測定電圧 AC50mV

測定電流 10uA 以下

周波数 パルス 2 周波 500Hz、2KHz

【使用目的又は効果】

歯内治療において、主たる根管の先端位置(根尖)及び主根管から分岐した側枝の有無を確認するために用いる。

【使用方法等】

(1)通常モード

使用前

- 1 プローブコードの白色ジャックにチャンネルインスツルメントホルダーを接続、灰色ジャックに口角クリップを接続する。排唾管を使用する場合は、灰色ジャックに排唾管クリップを接続する。
- 2 患者にラバーダムを施し、歯牙の表面をエアーで乾燥させる。
- 3 根管内にオキシドール液等の電気を通す薬液、又は生理食塩水を少量注入する。

使用方法

- 1 ファイルとラバーストップの間にチャンネルインスツルメントホルダーを取り付ける。
- 2 電源を入れ、チャンネルインスツルメントホルダーと口角クリップを接触させ、メータの指示値が APEX に到達していることを表示しているか確認する。
- 3 口角クリップを口角に引っ掛ける。このとき、この口角クリップが電極となるように口内の粘膜と接触させる。
- 4 予め撮影した X 線写真を元に、チャンネルインスツルメントホルダーでファイルを根管に挿入する。
- 5 根尖部にファイルが届いたら、歯冠部にラバーストップをセットし、ファイルを引き抜く。
- 6 ファイルの先端部分からラバーストップまでの長さを測定して根管の長さを読み取る。
- 7 測定終了後、電源スイッチを押し、電源を切る。

使用後

チャンネルインスツルメントホルダー及び口角クリップは、オートクレーブで滅菌する。その他の本体及び付属品については、清拭消毒をする。

(2)側枝検出モード

使用前

- 1 灰色ジャックに口角クリップを接続する。
- 2 患者にラバーダムを施し、歯牙の表面をエアーで乾燥させる。
- 3 根管内にオキシドール液等の電気を通す薬液、又は生理食塩水を少量注入する。

使用方法

- 1 ファイルとラバーストップの間にチャンネルインスツルメントホルダーを取り付ける。
- 2 電源を入れ、チャンネルインスツルメントホルダーと口角クリップを接触させ、メータの指示値が APEX に到達していることを表示しているか確認する。
- 3 口角クリップを口角に引っ掛ける。このとき、この口角クリップが電極となるように口内の粘膜と接触させる。
- 4 予め撮影した X 線写真を元に、チャンネルインスツルメントホルダーでファイルを根管に挿入する。
- 5 根尖部に至る途中で、側枝を検出すると、表示部の側枝表示が点滅する。
- 6 正確な側枝の高さを計測する場合は、側枝表示が点滅した時、歯冠部にラバーストップをセットし、ファイルを引き抜く。
- 7 ファイルの先端部分からラバーストップまでの長さを測定して側枝の高さを読み取る。

使用後

キャナルインストルメントホルダー、口角クリップは、オートクレーブで滅菌する。その他の本体及び付属品については、清拭消毒をする。

オートクレーブ：135℃以下、3分30秒

(乾燥工程は行わない。)

清拭消毒：消毒用アルコール(エタノール)を使用する。
【使用方法に関連する使用上の注意】

①測定に使用するファイルは、ハンドル部が樹脂製のものをを使用すること。

【使用上の注意】

1.本品を使用するときは、次の事項を守ること。

①使用する前に、必ず使用説明書を参照し、使用方法等を十分理解すること。

②本品は歯科用の根管長測定器なので、本目的以外には使用しないこと。

③次の根管症例は安定した根管長測定が出来ない。根管環境を改善して行うか、他の方法による判断をすること。

・根尖部が崩壊、拡大している根管

・出血中の根管

・歯冠部が崩壊している場合

・根管が割れている場合

・ガッタパーチャで充填された再治療の根管

・歯冠部にクラウンなどの金属補綴物があり歯肉と接触している場合

④測定を正しく行うために、使用説明書に記載されている「(EMRの基礎)測定根管の正しい前準備」に従って測定を行うこと。

⑤目盛りは根管の先端から実際の距離の近似値を示しますが、根管拡大や根管洗浄、あるいは根管の状態によっても値が変化する場合があるので、あくまでも目安として使用すること。

⑥根管内を乾燥しすぎると測定誤差が生じる。使用説明書に記載されている「(EMRの基礎)測定根管の正しい前準備」に従って測定を行うこと。

⑦測定に使用するファイル等は、ハンドル部が樹脂製のものをを使用すること。

⑧スイッチの接触状況、全てのコードの接続が正確且つ完全であることを確認すること。

⑨機器全般に異常のないことを確認すること。

⑩本品に異常が発見された場合は、安全な状態で機器の作動を止める等、適切な処置を講ずること。

⑪本品は強い衝撃、落下に弱い精密機器なので、取り扱いには十分注意すること。

⑫電池残量の目盛が全て消えた場合、電池を交換すること。

⑬本品の付属品以外のものを接続しないこと。

⑭コードの取り外しに際しては、コードを持って引き抜く等の無理な力を加えないこと。

⑮電源が入らない、メータの指示値が動かない、又は指示値が大きく揺れる場合、キャナルインストルメントホルダー又はプローブコードが断線している場合があるので注意すること。

⑯施術の前に、コネクタがしっかりと接続されているか確認すること。

⑰電池の蓋をしっかりと閉めること。感電の恐れがある。

⑱側枝の位置が根尖から2.5mm以下で、側枝孔径が根尖孔径の50%以下の場合には測定電流の大部分が根尖方向に流れてしまい、検出出来ない場合がある。

2.本品を設置するときは、次の事項に注意すること。

①気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。

②傾斜、振動、衝撃(運搬を含む)等)に注意すること。

③化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。

④幼児、子供の手の届かない所に設置すること。

3.本品の使用後には、次の事項に注意すること。

①付属品類は外し、清浄した後整理しておくこと。

②口角クリップ、キャナルインストルメントホルダーは滅菌し、保管すること。

③故障したときは、購入したディーラに相談すること。

④本品は改造しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管場所については、次の事項に注意すること。

① 水のかからないところに保管すること。

② 気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分の含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。

③傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)等)に注意すること。

④長期間、本品を使用しない場合には、電池を抜き取って保管すること。

⑤耐用期間は正規の保守点検を行った場合に限り5年間とする。

(耐用年数は自己認証「当社データ」による)

【保守・点検に係る事項】

1.使用者による保守・点検事項

詳細は、使用説明書15、16頁「使用前の本器の点検」、17頁「点検とお手入れ(保守・管理)」を参照のこと。

①機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。

②暫く使用していなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず本品が正常且つ安全に作動することを確認すること。

③本体の汚れは中性洗剤を含ませた布等で拭き取ること。

④清浄には、ベンジン、シンナー等の溶剤、酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、強アルカリ性の溶液を使用しないこと。

⑤清拭消毒・オートクレーブ

	清拭消毒	オートクレーブ
本体	○	×
キャナルインストルメントホルダー	○	○
口角クリップ	○	○
プローブコード	○	×
排唾管クリップ	○	×

・オートクレーブは、135℃以下で行うこと。

・乾燥工程はおこなわないこと。

・清拭消毒には、消毒用アルコール(エタノール)を用いること。

・キャナルインストルメントホルダーは、消耗品です。損傷した場合は新品に取り換えて使用すること。

・本品(本体及び付属品)を破棄する際は、各自治体の指定する方法にて行うこと。

2.業者による保守・点検事項

専用治具、測定器具を使用した点検整備については、販売業者に連絡を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者：

藤栄電気株式会社

神奈川県横浜市都筑区大丸26番地

TEL 045-941-6780

販売業者：株式会社 ヨシダ

東京都台東区上野7-6-9

お問い合わせ

コンタクトセンター TEL 0800-170-5541

※携帯電話からは03-6880-2155におかけください。